

堺市バリアフリー基本構想 (堺駅・堺東駅周辺地区)の改定について(案)

1. 改定の背景

(1) バリアフリー関連の法改正

平成 13 年度（2001 年度）の「堺市交通バリアフリー基本構想」策定以降、バリアフリーに関連する様々な法改正が実施されています。

近年では、平成 30 年（2018 年）11 月にバリアフリー法が改正され、理念規定に「共生社会の実現」、「社会的障壁の除去」が明確化されています。また、令和 3 年（2022 年）4 月の改正では、「心のバリアフリー化」などのソフト対策を強化するため、公共交通事業者等に対する基準適合の義務化や、市町村による「心のバリアフリー」の推進などが明確化されています。

	法令関係	堺市バリアフリー関係
平成 6 年度 (1994 年度)	ハートビル法施行 建築物のバリアフリー化を促進するための法律	
平成 12 年度 (2000 年度)	交通バリアフリー法施行 駅などの旅客施設や車両等のバリアフリー化を促進するための法律	
平成 13 年度 (2001 年度)		堺市交通バリアフリー基本構想策定
平成 18 年度 (2006 年度)	バリアフリー法施行 建築物、旅客施設と車両等、道路、路外駐車場、都市公園 のバリアフリー化を促進するための法律	
平成 23 年度 (2011 年度)	障害者自立支援法施行	
平成 25 年度 (2013 年度)	改正障害者基本法施行	
平成 27 年度 (2015 年度)	障害者総合支援法施行	
平成 28 年度 (2016 年度)	障害者差別解消法施行	
平成 30 年度 (2018 年度)	改正バリアフリー法施行 (※平成 30 年（一部平成 31 年）施行) 「 共生社会の実現 」「 社会的障壁の除去 」を基本理念とし、さらなるバリアフリー化を推進するために改正	堺市バリアフリー基本構想策定
令和 2 年度 (2020 年度)	改正バリアフリー法施行 (※令和 3 年（一部令和 2 年）施行) 公共交通事業者等における ソフト対策の強化 や 心のバリアフリーを推進 するために改正	堺市移動等円滑化促進方針策定
令和 4 年度 (2022 年度)		堺市バリアフリー基本構想 (堺駅・堺東駅周辺地区) 改定

(2) 国におけるガイドライン・目標等の見直し

バリアフリー関連の法改正のほか、国においてはガイドラインや目標の見直しも実施されています。

■「交通バリアフリー基準」及び「公共交通機関の移動等円滑化整備ガイドライン（旅客施設編・車両等編）」の改正（平成 30 年 3 月）

概要	移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準等検討委員会における検討及びパブリックコメントの結果を踏まえ、「交通バリアフリー基準※」（※移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令）及び「公共交通機関の移動等円滑化整備ガイドライン（旅客施設編・車両等編）」を改正。
主な改正内容	(1) 駅等における移動等円滑化経路(バリアフリールート)の 最短化・複数化 について (2) 乗降場間の 乗継ぎルートのバリアフリー化 について (3) 旅客施設に設けるエレベーターのかごの大きさ等について (4) トイレのバリアフリー機能の分散 について (5) プラットフォームからの転落防止 について (6) プラットフォームと鉄道車両床面の段差及び隙間の解消 について (7) 鉄軌道車両の車椅子スペース について

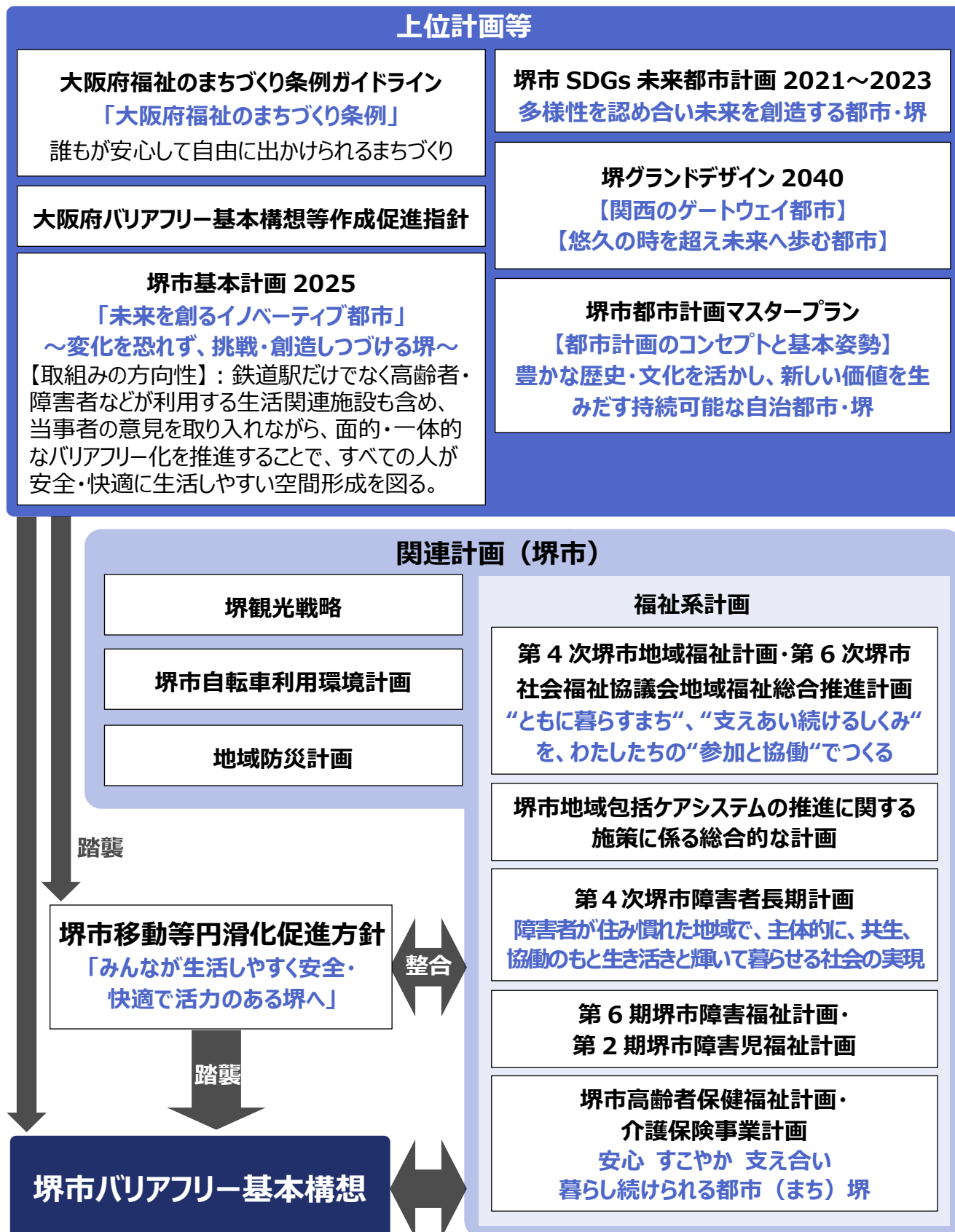
■「バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標について（最終とりまとめ）（令和 2 年 11 月）」の公表（令和 2 年 11 月）

概要	「バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会」において、現行の基本方針におけるバリアフリー化の目標は令和 2 年度までの期限となっていることから、次期目標のとりまとめが行われた。	
目標期間	おおむね 5 年間	
見直しの視点	● 各施設等について地方部を含めた バリアフリー化の一層の推進 ● 聴覚障害及び知的・精神・発達障害に係るバリアフリーの進捗状況の見える化 ● マスタープラン・基本構想の作成による 面的なバリアフリーのまちづくりの一層の推進 ● 移動等円滑化に関する国民の理解と協力、いわゆる「 心のバリアフリー 」の 推進	
次期目標	次期目標のうち、現行目標から追加されたものは以下のとおり。（本市基本構想の評価・見直し等に関連するものを抜粋）	
	項目	国のバリアフリー化目標
	案内設備（鉄軌道駅）	3,000 人以上/日の施設及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた 2,000 人以上/日の施設を原則 100%
	音響機能付加信号機	主要な生活関連経路を構成する道路のうち、道路又は交通の状況に応じ必要な部分に設置されている信号機については原則 100%
	エスコートゾーン	心
心のバリアフリー		○移動等円滑化に関する国民の理解と協力を得ることが当たり前の社会となるような環境を整備する ほか
※目標：国が省令により定める移動等円滑化基準を満たす整備が完了している割合		

2. 上位関連計画

(1) 上位関連計画と堺市バリアフリー基本構想の位置付け

「堺市バリアフリー基本構想」（以下、「バリアフリー基本構想」とする。）の改定に向け、移動等円滑化のために実施する事業などを検討する上で関連する計画などは以下のとおりです。



(2) 上位関連計画の記載内容

① 上位関連計画一覧

区分	連番	計画等の名称	策定／改訂年
大阪府 上位計画	1	大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン	令和 2 年 3 月 (2020 年)
	2	大阪府バリアフリー基本構想等作成促進指針	平成 31 年 3 月 (2019 年)
堺市 上位計画	3	堺市基本計画 2025	令和 3 年 3 月 (2021 年)
	4	堺市 SDGs 未来都市計画	令和 3 年 2 月 (2021 年)
	5	堺グランドデザイン 2040	令和 2 年 2 月 (2020 年)
	6	堺市都市計画マスタープラン	令和 3 年 7 月 (2021 年)
	7	堺市移動等円滑化促進方針	令和 3 年 3 月 (2021 年)
堺市 関連計画	8	第 4 次堺市地域福祉計画・第 6 次堺市社会福祉協議会地域福祉総合推進計画	令和 2 年 3 月 (2020 年)
	9	堺市地域包括ケアシステムの推進に関する施策に係る総合的な計画	令和 4 年 3 月 (2022 年)
	10	第 4 次堺市障害者長期計画	平成 27 年 3 月 (2015 年)
	11	第 6 期堺市障害福祉計画・第 2 期堺市障害児福祉計画	令和 3 年 3 月 (2021 年)
	12	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	令和 3 年 3 月 (2021 年)
	13	歴史文化のまち堺観光戦略プラン	平成 29 年 7 月 (2017 年)
	14	堺観光戦略	令和 3 年 5 月 (2021 年)
	15	堺市自転車利用環境計画	平成 25 年 6 月 (2013 年)
	16	地域防災計画	令和 4 年 3 月 (2022 年)

② 上位関連計画の概要

【大阪府上位計画】

■ 1 : 大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン（R2（2020）.3）

策定趣旨	国内外からのさらなる観光客の増大や超高齢社会の進展等を見据え、大阪府で「大阪府福祉のまちづくり条例」を改正しホテル又は旅館に係る規定の充実を図ったこと、国土交通省が「ホテル又は旅館における高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準（追補版）」を策定したことなどを踏まえ、令和２年３月に本ガイドラインを改訂。
計画期間	-
目的	誰もが安心して自由に出かけられるまちづくり
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>【2 誰もが出かけられるまちづくりに必要な視点】</p> <p>A 多様な利用者に対する理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「動くこと」に困っている人 ●「見ること」に困っている人 ●「聞くこと」に困っている人 ●「伝えること・理解すること」に困っている人 <p>B まちづくりや建築におけるユニバーサルデザイン</p> <p>C 心のバリアフリー</p> <p>D 障害者差別解消法</p>

■ 2 : 大阪府バリアフリー基本構想等作成促進指針（H31（2019）.3）

指針の位置づけ	本指針は、今般、バリアフリー法及び同法に基づく基本方針の改正により、基本構想等の作成に係る都道府県の役割が強化されたことや福祉のまちづくり条例における市町村への技術的助言についての規定、大阪府ユニバーサルデザイン推進指針を踏まえ、広域的な観点から府の考え方を示すものです。
計画期間	-
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>5. 基本的な方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 (2) 当事者が参画した協議会における基本構想等の推進 (3) ハード・ソフトの一体的な取組みの推進 <p>6. 市町村の基本構想等の作成・見直しの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 面的・一体的なバリアフリー化の促進 (2) 鉄道駅等のさらなるバリアフリー化の促進 (3) 利用者の特性に応じた分かりやすいバリアフリー情報の提供 (4) 災害時、緊急時の避難を想定した施設や経路のバリアフリー化 (5) マスタープランの活用

【堺市上位計画】

■3：堺市基本計画 2025（R3（2021）.3）

計画の位置づけ	本計画は、10年後の2030年度を見据えながら、社会変化に的確に対応し、将来にわたって持続可能な都市経営を推進するため、今後5年間に本市として取り組むべき方向性を示した都市経営の基本となる計画である。
計画期間	令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）
都市像	「未来を創るイノベティブ都市」～変化を恐れず、挑戦・創造しつづける堺～
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>【重点戦略2—施策（3）-取組の方向性④ 面的・一体的なバリアフリー化の推進】</p> <p>鉄道駅だけでなく高齢者・障害者などが利用する生活関連施設も含め、当事者の意見を取り入れながら、面的・一体的なバリアフリー化を推進することで、すべての人が安全・快適に生活しやすい空間形成を図る。</p>

■4：堺市 SDGs 未来都市計画 2021～2023（R3（2021）.2）

目標年度	令和12年（2030年）
将来像	【将来像】 多様性を認め合い未来を創造する都市・堺
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>【2—（1）自治体 SDGs の推進に資する取組】</p> <p>【11 住み続けられるまちづくりを】【2030年のゴール実現イメージ】</p> <p>○堺グランドデザイン 2040 に基づき、各エリアの特色を活かした魅力的な都市空間の形成が進んでいる。</p> <p>○東西交通などの交通ネットワークの強化や新たなモビリティ・サービスなどの導入が進んでいる。</p> <p>○住民などの各主体が地域のための活動に参画し、地域コミュニティ活動が活発に行われている。</p> <p>○「自助」「共助」「公助」が補完しあう災害対策が進み、強靱な都市構造が形成され、防災力が高まっている。</p> <p>○百舌鳥古墳群が保全され、次世代に継承されている。</p>

■5：堺グランドデザイン 2040（R2（2020）.2）

堺グランドデザイン 2040 とは	「堺グランドデザイン 2040」は、20 年後の堺がめざすべき将来像をみんなで共有し、より良い都市の実現をめざすためのものです。
目標年度	20 年後（令和 22 年（2040 年））
将来像	【関西のゲートウェイ都市】【悠久の時を超え未来へ歩む都市】
将来イメージ ～交通・モビリティ～	【コンセプト】 <ul style="list-style-type: none"> ● ウォーカブルな人中心の快適で魅力的な都市空間の形成 ● 個々の移動距離や需要に応じた交通手段の提供、交通ネットワークの機能強化と活用 ● 自動運転技術・新たなモビリティの活用や、モビリティ・サービスによる移動環境の充実 ● ICT・電動化等の技術の進展と環境整備による低炭素化・持続可能な社会の実現

■6：堺市都市計画マスタープラン（R3（2021）.7）

策定趣旨	これまでの取組を継承し、「堺グランドデザイン 2040」に示した堺の将来像やSDGs の考え方を取り入れながら、時代の変化を踏まえた本市の新たな都市の将来像と、これを実現するための都市計画の基本的な方針を示すため、都市計画マスタープランを改定。
計画期間	目標年次：令和 22 年度（2040 年度）
将来像など	【都市計画のコンセプトと基本姿勢】 豊かな歴史・文化を活かし、新しい価値を生み出す持続可能な自治都市・堺 【めざすべき都市像】 <ol style="list-style-type: none"> (1) 活力あふれる都市 (2) 住みたい・訪れたい・働きたい魅力のある都市 (3) 持続可能な脱炭素都市 (4) 安全で安心して暮らせる都市
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	【第 3 節－2. 道路・交通の方針】（7）安全で快適な公共施設等の整備 ○すべての人が安心して快適に移動できるよう、鉄道駅等の旅客施設や不特定多数が利用する建築物及び道路や公園等の公共施設等の一体的なバリアフリー化や、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた都市環境の整備を促進します。

■ 7 : 堺市移動等円滑化促進方針（R3（2021）.3）

策定趣旨	<p>【本市における移動等円滑化促進方針策定の趣旨】</p> <p>本方針については、全市域を対象とした、今後求められるバリアフリー化の取組を推進するための指針を定める。</p> <p>【位置づけ】</p> <p>バリアフリー法及び同法に基づく国の基本方針改正により、さらなるバリアフリー化に向けた地域における取組強化が市町村に求められており、駅、道路、公共施設等の一体的・計画的なバリアフリー化を促進するため、考え方を示すもの。</p>
計画期間	期間の定め無し（必要に応じて見直し）
堺市バリアフリー化基本理念	「みんなが生活しやすく安全・快適で活力のある堺へ」
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>※堺市における以下の方針について記載</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市における移動等円滑化の促進に関する基本的な方針 2 堺市バリアフリー基本構想（堺市交通バリアフリー基本構想を含む。）の評価・見直し 3 当事者参加の仕組み 4 バリアフリー化の推進に向けた取組 5 バリアフリー化のさらなる拡充に向けた検討

【堺市関連計画】

■ 8 : 堺あったかぬくもりプラン 4（第 4 次堺市地域福祉計画・第 6 次堺市社会福祉協議会地域福祉総合推進計画）（R2（2020）.3）

計画の位置づけ	「地域福祉計画」は、社会福祉法（第 107 条）に基づく市町村地域福祉計画であり、平成 29 年の改正をふまえて、健康福祉の分野別計画の基盤となる事項や共通して取り組む事項、包括的な支援体制の整備をはじめとする地域福祉を推進するうえで重点的に取り組む事項を定めました。また、「地域福祉総合推進計画」は、地域福祉の「民」の推進機関である社協が、市民・団体、事業者・企業等と協働して、重点的に取り組む事項を定めた計画です。
計画期間	令和 2 年度（2020 年度）～令和 7 年度（2025 年度）
取組の理念	“ともに暮らすまち”、“支えあい続けるしくみ”を、わたしたちの“参加と協働”でつくる
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>基本目標 2“ともに暮らすまち”づくりを、多様な人や組織の参加と協働ですすめます。</p> <p>3) 多様な主体の参加と連携による地域福祉活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域福祉のプラットフォーム」の構築 ・多様な主体による取組との連携の推進

■ 9 : よりそい安心ほっとプラン（堺市地域包括ケアシステムの推進に関する施策に係る総合的な計画）（R4（2022）.3）

策定趣旨	<p>（前略） 高齢の方を取り巻く状況が多様化する中、自宅で住み続けるためには、～（略）～「地域包括ケアシステム」の構築がますます重要になっています。また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は～（略）～医療・介護の分野でも大きな影響が出ています。このような状況を踏まえ、「新しい生活様式」に対応した形で、多様な状況に応じたきめ細かな支援策を講じていくことが必要となっています。</p>
計画期間	令和元年度（2019 年度）～令和 8 年度（2026 年度）
基本理念	<p>本計画の基本理念は、堺市地域包括ケアシステム推進条例第 3 条の各号となります。</p> <p>（1）地域包括ケアシステムは、高齢者の尊厳の保持及び自立支援を基本とすべきものであること。</p> <p>（2）地域包括ケアシステムは、市民等で支え合う持続可能な本市の介護保険制度の構築に資するもので、地域の自主性及び主体性に基づき、地域の特性に応じてつくり上げていくべきものであること。</p> <p>（3）地域包括ケアシステムは、市、医療介護等関係者及び市民等が、それぞれの役割を理解し、協働して構築及び深化・推進をしていくべきものであること。</p> <p>（4）地域包括ケアシステムは、市、医療介護等関係者及び市民等が、自助、互助、共助及び公助の考え方に基づき、適切な役割分担の下に行うべきものであること。</p> <p>（5）市民等は、支える側と支えられる側とが固定されたものではなく、個々の状態に応じて、それぞれが役割を持ち、相互に支え合うべきものであること。</p>
基本的視点	<p>（4）住まいについて 高齢者の尊厳が保持され、自宅のバリアフリー化、高齢者向け住宅及び高齢者向け施設への入居等、各々の希望にかなった「住まい」が確保され、その質の維持・向上が進められている。</p> <p>（5）生活支援について 高齢者が支え合いによって、これまでの生活がスムーズに行えたり、自分らしい生活を送れるようになり、高齢者の社会参加や生きがいの創出が進む。</p>

■ 10 : 第 4 次堺市障害者長期計画（H27（2015）.3）

計画の性格	本計画は、障害者基本法に基づく本市の障害者長期計画であり、障害者施策を推進するにあたっての基本理念及び基本目標を示すことにより、その方向性を明らかにするとともに、今後の障害者福祉に関わる行政運営の指針とするものです。
計画期間	平成 27 年度（2015 年度）～令和 5 年度（2023 年度）
基本理念	障害者が住み慣れた地域で、主体的に、共生、協働のもと生き活きと輝いて暮らせる社会の実現
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>【施策の推進】[3-5] 公共的施設のバリアフリー化の推進</p> <p>【施策の取り組み方向】</p> <p>①障害者等に配慮した公共交通機関の整備</p> <p>②障害者等に配慮した公共的施設の整備</p> <p>③障害者等に配慮したまちづくりの推進</p>

■ 11 : 第 6 期堺市障害福祉計画・第 2 期堺市障害児福祉計画（R3（2021）.3）

策定趣旨	（前略）本計画は、こうした課題や社会背景等をふまえ、「第 4 次堺市障害者長期計画」と歩調を合わせながら、障害者・児の地域生活の支援や共生社会の実現に向けた目標も含め、本市におけるサービス基盤の一層の充実に向け、その取組方向を定める計画として策定するものです。
計画期間	令和 3 年度（2021 年度）～令和 5 年度（2023 年度）
基本理念	障害者が住み慣れた地域で、主体的に、共生、協働のもと生き活きと輝いて暮らせる社会の実現（※第 4 次障害者長期計画と同一）
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>【取組の基本方針】</p> <p>◆障害者の人権の尊重、自己決定権の尊重</p> <p>◆ライフステージや障害特性等に配慮したとぎれのない支援、個人を尊重した支援の展開</p> <p>◆社会的障壁の除去、必要かつ合理的な配慮の行きわたる共生社会の実現</p> <p>【施策の方向性】</p> <p>◆社会参加の促進、交流促進、障害理解の促進、虐待の防止</p>

■ 12 : 堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（R3（2021）.3）

策定趣旨	（略）本計画は、これまでの取組について必要に応じて見直ししながら、本市の高齢者施策を総合的に推進するため、団塊の世代がすべて 75 歳以上となる令和 7（2025）年および令和 22（2040）年を展望し、本市における地域包括ケアシステムのさらなる推進を図る計画として策定します。
計画期間	令和 3 年度（2021 年度）～令和 5 年度（2023 年度）
基本理念	安心 すこやか 支え合い 暮らし続けられる都市 堺
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>【重点施策・施策展開】</p> <p>5 高齢者が安心して暮らし続けられる都市・住まいの基盤整備</p> <p>（2）高齢者が暮らしやすい生活環境の整備</p> <p>高齢者が社会参加などを通じていきいきと暮らすためには、活動しやすく、安心して外出できる都市環境が重要であり、本市は、「堺市移動等円滑化促進方針」等に基づき、高齢者が外出しやすい都市環境となるようバリアフリー化の普及促進に取り組みます。</p>

■ 13 : 歴史文化のまち堺観光戦略プラン（H29（2017）.7）

策定の趣旨	（略）この「歴史文化のまち堺観光戦略プラン」は、まちの賑わいを維持・向上させる上で「観光」という視点からどのような取組が必要なのかを明らかにするとともに、堺市マスタープランが政策の一つに掲げる「まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます」を具体的かつ着実に推進するために策定するものです。
計画期間	2020 年度（平成 32 年度）まで
基本理念	歴史・文化を活用した都市魅力の創造と発信
3 つの戦略	<p>戦略 3－施策 13－9 ユニバーサルツーリズムの推進</p> <p>高齢者や障がい者の方が快適に市内を観光できるよう、バリアフリー情報の発信や観光ボランティアガイドによるサポートなど、ユニバーサルツーリズムに向けた取組を進めます。</p>

■ 14 : 堺観光戦略（R3（2021）.5）

位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・『堺市基本計画 2025』、『堺市 SDGs 未来都市計画』等の方針に沿って、展開すべき観光の方向性を提示 ・安全・安心の確保と経済の活性化を両立し、歴史文化資源を未来へ継承するための持続可能な施策を強化 ・大阪府・大阪市が『大阪都市魅力創造戦略 2025』で取り組む府域周遊・滞在型観光促進に向けて、施策の方向性を共有
計画期間	2021 年度（令和 3 年度）～2025 年度（令和 7 年度）
めざす姿	「人々を魅了し続ける屋根のないミュージアム“SACAY”」
3 つの戦略	<p>◆創る～Create～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代、中世・近世の堺を体感できるエリアを“創る” ・長時間滞在、周遊できるエリアを“創る” ・堺ならではの新たなコンテンツを“創る” <p>◆繋げる～Connect～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適に大仙公園エリアと環濠エリア間を“繋げる” ・重点エリアと市内各エリアを“繋げる” ・大阪、関西の歴史文化、世界遺産を“繋げる” <p>◆続ける～Continue～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に観光できる取組を“続ける” ・古墳群を次世代へ引き継ぐ取組を“続ける” ・市民、事業者が主体となった取組を“続ける”

■ 15 : 堺市自転車利用環境計画（H25（2013）.6）

策定趣旨	平成 16 年に『堺自転車環境共生まちづくり基本計画』を策定し、すべての人にとって安全・快適で夢と活力の息づく楽しいまちづくりをめざし、自転車の持つ 3 つの力、「交通としての力」「人への力」「暮らしへの力」を活かしたまちづくりを行ってきました。しかし、計画策定から 9 年経ち、社会面や経済面の状況の変化によって、自転車利用のニーズが高まったことから、新たに『堺市自転車利用環境計画』を策定し、ハード・ソフト施策の両面から、体系的かつ計画的に自転車を利用しやすい環境を推進することとします。
計画期間	平成 25 年度（2013 年度）～令和 4 年度（2022 年度）
基本理念	市民が自転車を大切に扱い、市民・事業者及び行政が協働して、交通ルールの遵守・マナーの向上を図るとともに、安全で安心して、そして楽しく利用することができる自転車のまちづくりを進めます。
計画の柱	<p>【つかう・利用促進】 自転車を環境に優しく、健康に良い乗り物として利用を促進</p> <p>【まもる・安全利用】 自転車の交通ルールの遵守とマナーの向上と、安全なまちづくりを市民や事業者と協働して推進</p> <p>【とめる・駐輪環境】 自転車の利用を促進するための駐輪環境のあり方の検討と放置自転車の削減</p> <p>【はしる・通行環境】 安全に通行できる自転車通行環境の形成</p>

■ 16 : 地域防災計画（R4（2022）.3）

目的及び目標	この計画は、災害対策基本法第 42 条（市町村地域防災計画）及び南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第 6 条（推進計画の特例）の規定に基づき、堺市防災会議が策定する計画であって、堺市域に係る災害に関し、堺市及び防災関係機関が、その全機能を有効に発揮して、市民や事業者等の協力のもと、災害予防、災害応急対策及び災害復旧・復興等の災害対策を実施することにより、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。
計画期間	-
基本目標	<p>I 人命の保護が最大限図られること</p> <p>II 市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること</p> <p>III 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化</p> <p>IV 迅速な復旧復興</p>
方針等（まちづくり・バリアフリー関連）	<p>【災害予防対策 第 2 章 第 3 節 2 道路の整備】</p> <p>（4）道路のバリアフリー化の整備を行うことにより、災害時における市民の避難行動等における安全の確保に努める。</p> <p>【災害予防対策 第 2 章 第 7 節 3 要配慮者に配慮した施設整備等】</p> <p>人口減少社会を迎える中、要配慮者となる高齢者の増加、支援者となる若年者の減少が懸念されることから、市町村は、要配慮者が利用しやすいよう、指定避難所に指定された施設のバリアフリー化に努めるなど、次の基準により施設の福祉的整備を図る。（後略）</p> <p>（1）多人数の避難に供する施設の管理者は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）、大阪府福祉のまちづくり条例や堺市福祉まちづくり環境整備要綱、その他要配慮者の権利擁護・配慮に関する法令等に基づき、障害者等が落ち着ける環境を工夫することや、障害特性に対応したコミュニケーション手段を踏まえることや、歩行が困難な障害者等の通路を確保する等、さまざまな対応方法や配慮事項を踏まえた整備・改善に努める。</p> <p>（2）多人数の避難に供する施設（棟）の管理者は、その施設内に福祉仕様のトイレを設置するよう努める（ただし、障害者等が他の施設（棟）の福祉仕様のトイレを支障なく利用できる場合は、この限りではない。）。</p> <p>（3）市は、施設管理者の協力を得て、避難所生活において支障なく移動できるルート（仮設スロープの準備等）を確保するなど、避難生活（水・食料・物資の受け取り、仮設トイレの使用等）に支障のないよう配慮する。</p>

3. 堺市バリアフリー基本構想への反映事項

前項までの整理を踏まえた、現行計画策定後の法令等の主な変更点と今回の改訂への反映事項は以下のとおりです。

項目	現行計画策定後の法令等の主な変更点	現行計画での対応状況		今回見直しへの反映
		基本構想全体部分 (堺市バリアフリー基本構想)	堺駅・堺東駅周辺地区 (堺市交通バリアフリー基本構想)	
対象者の拡充 【H18(2006)バリアフリー法】	◆身体障害者のみならず、知的・精神、発達障害、高次脳機能障害など <u>すべての障害者</u> を対象。	さらなるバリアフリー化の推進に向けた課題として、知的障害や精神障害に係るバリアフリー化促進の記載あり	身体障害者が対象	<u>すべての障害者を対象</u> とする。
対象施設の拡充 【H18(2006)バリアフリー法】	◆これまでは建物や公共交通機関だけであったが、対象に <u>路外駐車場</u> 、 <u>都市公園</u> 等日常生活で利用する施設を追加。	-	旅客施設、道路が対象	<u>路外駐車場、都市公園等の生活施設の追加</u> を検討。
基本構想の対象エリア等の拡充 【H18(2006)バリアフリー法】	◆バリアフリー化を重点的・一体的に進める対象エリアを、 <u>旅客施設を含まない地域まで拡充</u> ◆駅舎と生活関連施設とをつなぐ経路のみならず、 <u>生活関連施設間も生活関連経路として経路設定可能</u>	-	◆旅客施設を含むエリアが重点整備地区の対象 ◆旅客施設と主要施設を結ぶ経路のうち、特に重点的にバリアフリー化を図るべき経路が特定経路となっている	左記の要件を踏まえ、 <u>重点整備地区と生活関連経路を見直し</u> 。
基本構想策定の際の当事者参加 【H18(2006)バリアフリー法】	◆基本構想策定時の <u>協議会制度を法律に位置付け</u>	堺市バリアフリー化検討委員会が設置されている	-	<u>検討委員会を法に基づく協議会</u> として位置づけ。
ソフト施策の充実 【H18(2006)バリアフリー法・R2(2020)改正バリアフリー法】	◆施策の持続的かつ段階的な発展（ <u>スパイラルアップ</u> ） ◆ <u>心のバリアフリー</u> の位置付け・推進	バリアフリー化の推進に向けた取組み等として、スパイラルアップ、心のバリアフリーの記載あり	-	<u>市内全域の取組み</u> として検討。
バリアフリー基準 【H30(2018)交通バリアフリー基準改正・R3(2021)堺市移動等円滑化促進方針ほか】	◆駅等におけるバリアフリールート shortest route の最短化・ <u>複数化</u> ◆ <u>乗継ぎルート</u> のバリアフリー化 ◆ <u>オストメイト用設備</u> の設置 ◆ <u>ホームドア・可動式ホーム柵</u> が設置できないホームに内方線付き点状ブロック ◆利用者の特性に応じた <u>わかりやすい情報の提供</u> 等	-	◆堺駅、堺東駅ともに1つの経路を整備済 ◆駅前広場を整備済 ◆堺駅、堺東駅ともにオストメイト対応あり ◆ホームドア・可動式ホーム柵の位置付けなし ◆主要施設案内図の整備などを整備済	新たな基準を踏まえ <u>必要な整備項目を検討</u> 。 鉄道関連の事業に関しては、鉄道事業者と調整。 ※ <u>ホームドア・可動式ホーム柵の位置付けは、技術的課題の解決が必要</u>

堺駅・堺東駅周辺地区における 重点整備地区及び生活関連施設、生活関連経路 について（案）

1. 重点整備地区

バリアフリー化を推進するために、「生活関連施設」や「生活関連経路」を含み、バリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する地区である「重点整備地区」の区域を定めます。



「堺駅・堺東駅周辺地区」における重点整備地区は、平成 13 年度（2001 年度）に策定した「堺市交通バリアフリー基本構想」で定めた重点整備地区に、新たに定める生活関連施設や生活関連経路の状況を踏まえ範囲を定めます。

2. 生活関連施設

生活関連施設とは、「高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他施設」のことであり、該当する施設は、市内において鉄道駅、市役所、病院、商業施設、公園など多数立地しています。これらのうち、基本構想において生活関連施設に定めた施設はバリアフリー化を図っていく必要があります。

「堺駅・堺東駅周辺地区」における生活関連施設は、平成 27 年度（2015 年度）に策定した「堺市バリアフリー基本構想」における考え方を踏まえ、**公共性の高い施設、施設規模が 2,000 m²以上となる建築物、駐車のために供する部分（駐車マス）の面積が 500 m²以上の路外駐車場等**について選定します。

生活関連施設一覧（案）（1/3）

大分類	小分類	番号	施設名
官公庁等 	都道府県庁、市役所・区役所、役場	官公庁等 1	堺市堺区役所
		官公庁等 2	堺市役所
	郵便局、銀行、ATM	官公庁等 3	堺郵便局
	警察署(交番を含む)、裁判所	官公庁等 4	大阪府堺警察署
		官公庁等 5	堺市消防局 堺消防署
		官公庁等 6	裁判所（堺簡易裁判所、大阪家庭裁判所堺支部、大阪地方裁判所 堺支部）
		官公庁等 7	堺市男女共同参画センター
	都道府県税務署、税務署	官公庁等 8	堺地方合同庁舎（堺税務署、大阪法務局 堺支局）
		官公庁等 9	大阪府泉北府税事務所
教育・文化施設 	市民会館・市民ホール、文化ホール	教育・文化施設 1	堺市社会福祉協議会（社会福祉法人）堺市総合福祉会館
		教育・文化施設 2	フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）

生活関連施設一覧（案）（2/3）

大分類	小分類	番号	施設名
教育・文化施設 	学校(小・中・高等学校)	教育・文化施設 3	堺市立英彰小学校
		教育・文化施設 4	堺市立市小学校
		教育・文化施設 5	堺市立少林寺小学校
		教育・文化施設 6	堺市立熊野小学校
		教育・文化施設 7	堺市立安井小学校
		教育・文化施設 8	堺市立榎小学校
		教育・文化施設 9	堺市立月州中学校
		教育・文化施設 10	堺市立殿馬場中学校
		教育・文化施設 11	大阪府立泉陽高等学校
		教育・文化施設 12	大阪府立三国丘高等学校
	博物館・美術館・音楽館、資料館	教育・文化施設 13	シマノ自転車博物館
		教育・文化施設 14	さかい利晶の杜（千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館）
保健・医療・福祉施設 	病院・診療所	保健・医療・福祉施設 1	阪堺病院
		保健・医療・福祉施設 2	清恵会病院
		保健・医療・福祉施設 3	三国丘病院
宿泊施設 	ビジネスホテル、シティホテル	宿泊施設 1	ホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺
		宿泊施設 2	アパホテル〈堺駅前〉
		宿泊施設 3	コンフォートホテル 堺
		宿泊施設 4	ホテルサンプラザ堺本館
		宿泊施設 5	ホテルサンプラザ堺アネックス
		宿泊施設 6	ビジネスホテル ニュー大浜
		宿泊施設 7	ホテルアストンプラザ大阪堺
		宿泊施設 8	ダイワロイネットホテル 堺東
		宿泊施設 9	A B ホテル堺東
		宿泊施設 10	大阪ベイプラザホテル
		宿泊施設 11	ホテルリバティプラザ
公園・運動施設 	公園	公園・運動施設 1	三宝公園
		公園・運動施設 2	大浜公園
		公園・運動施設 3	戎公園(ザビエル公園)
	体育館・武道館 その他 屋内施設	公園・運動施設 4	大浜だいしんアリーナ(堺市立大浜体育館)・だいしん大浜武道館(大浜武道館)
商業施設 	大規模小売店舗等	商業施設 1	プラットプラット
		商業施設 2	ライフ堺駅前店
		商業施設 3	ジョルノ
		商業施設 4	高島屋 堺店

大分類	小分類	番号	施設名
		商業施設 5	コノミヤ 堺東店

生活関連施設一覧（案）（3/3）

大分類	小分類	番号	施設名
路外駐車場 ●	路外駐車場	路外駐車場 1	タイムズ A B C 翁橋
鉄道駅 ●	鉄道駅	鉄道駅 1	堺駅
		鉄道駅 2	堺東駅

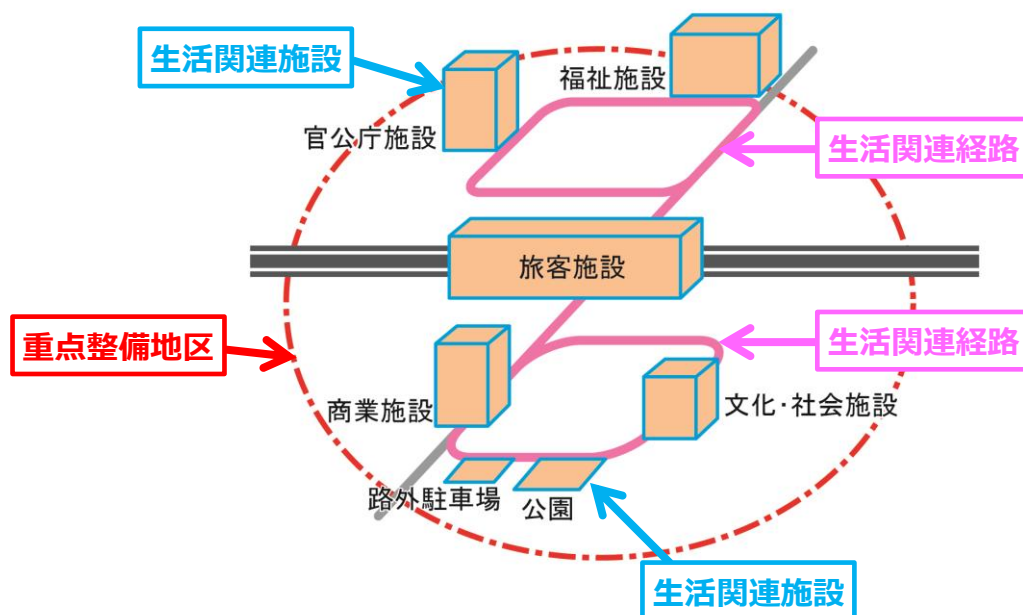
合計件数：49 件

3. 生活関連経路

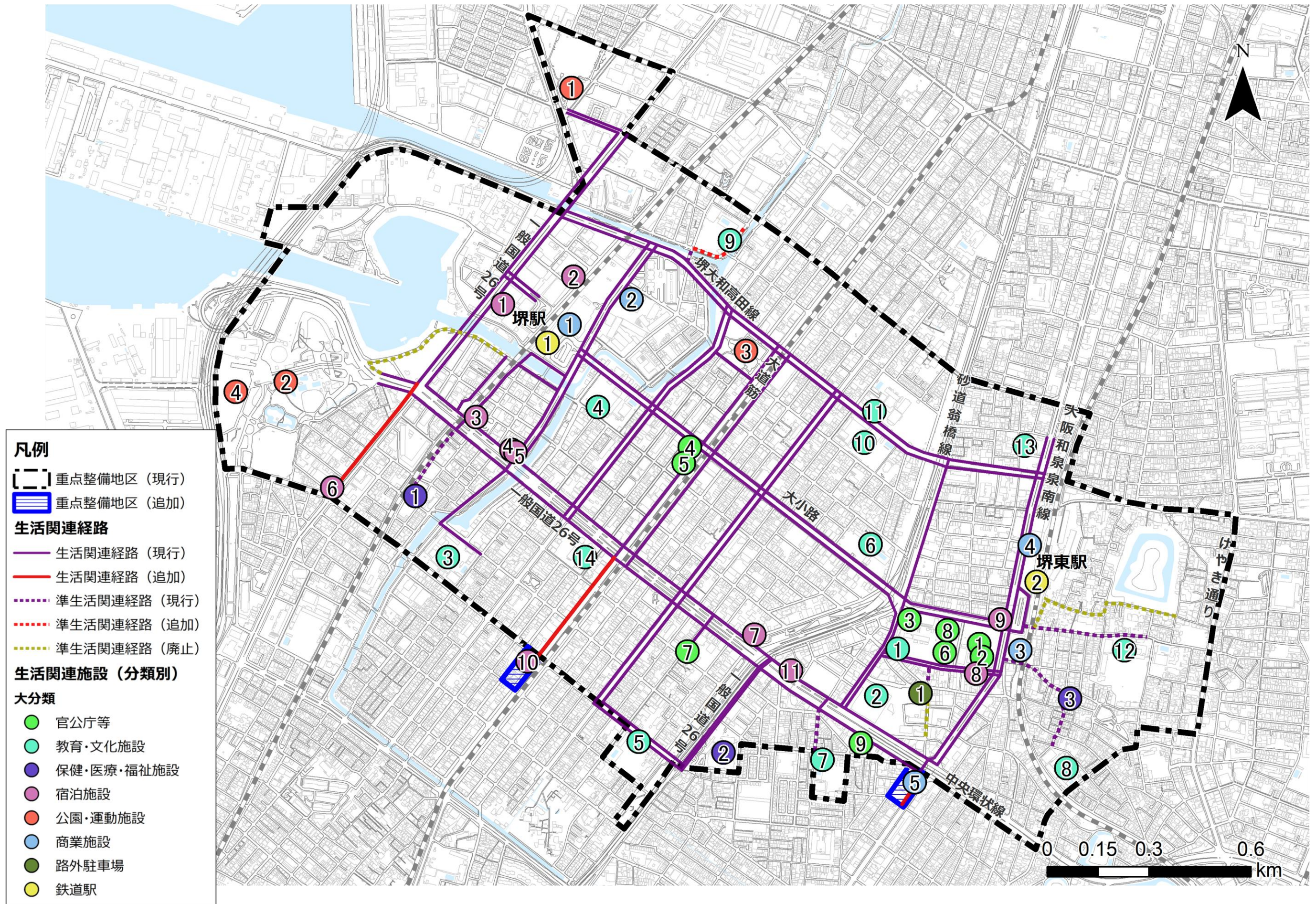
生活関連経路とは、「生活関連施設相互間の経路」のことであり、生活関連経路の間を結ぶ道路、駅前広場のほか、建築物内部の通路なども生活関連経路として定めることができます。基本構想において生活関連経路に定めた経路はバリアフリー化を図っていく必要があります。

「堺駅・堺東駅周辺地区」における生活関連経路は、平成 13 年度（2001 年度）に策定した「堺市交通バリアフリー基本構想」で定めた特定経路に、**生活関連施設の立地を踏まえた経路**を加え定めます。

【生活関連施設・生活関連経路・重点整備地区のイメージ】



【「堺駅・堺東駅周辺地区」における生活関連施設・生活関連経路・重点整備地区（案）】



堺市交通バリアフリー基本構想（堺駅・堺東駅周辺地区） で位置付けた事業の進捗状況について

平成 13 年度（2001 年度）策定の「堺市交通バリアフリー基本構想」の「堺駅・堺東駅周辺地区」において位置付けた事業等について、各事業者
にヒアリングを実施し、事業進捗状況を把握しています。（一部確認中の事項も含まれます。）

1. 駅舎・駅前広場の進捗状況

（1）堺駅

■堺駅 事業実施状況一覧（1/2）

凡例


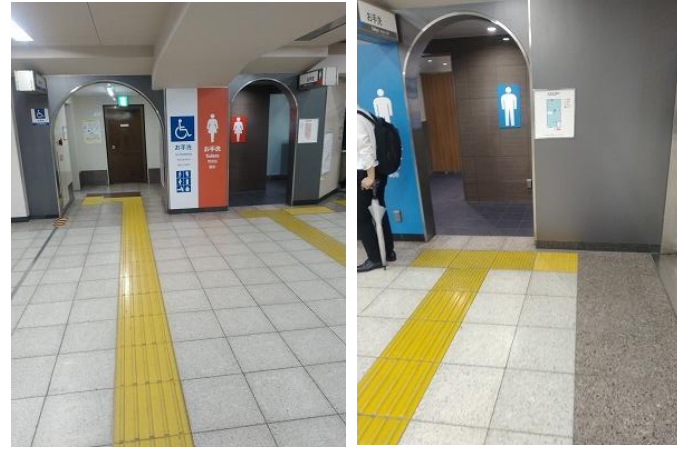
グレーハッチ：「堺市交通バリアフリー基本構想」に位置づけのない事業

整備項目			事業者	記入欄			
				進捗	完了年度	備 考	写真
鉄道 駅舎	a.垂直移動 施設の整備	1	西口スロープの改良	—	—	（スロープは南海電鉄管理外）	
		2	改札内外エレベーターの音量・開閉時間 調節	南海電鉄	一部完了	2013 年	アナウンス音量を改善
	b.誘導案内 情報施設の 整備	3	駅全体の案内サイン等の検討	南海電鉄	検討中	—	
		4	駅全体の誘導ブロックの配置等の検討	南海電鉄	検討中	—	
		5	誘導・警告ブロックの敷設位置等の改良	—	—	（南海電鉄管理外）	
	c.旅客施設の 個別施設	6	列車接近を示す視覚情報設備の設置	南海電鉄	完了	—	行き先案内盤設置済
		7	プラットフォーム転落防止柵等の改良	南海電鉄	その他	—	車いすのための渡し板配備済み
	d.設備・施設 の改良	8	券売機の点字表示	南海電鉄	完了	2003 年	テンキー対応券売機導入 （点字表示はそれ以前に対応）
		9	車いす対応、IC 化への対応	南海電鉄	完了	2018 年	・IC 対応機導入 ・障害者割引ボタンのある券売機に 点字ブロックで誘導 ・券売機に蹴込み設置

■堺駅 事業実施状況一覧（2/2）

整備項目				事業者	記入欄			
					進捗	完了年度	備考	写真
鉄道駅舎	e.設備・施設の改良	10	駅務室における FAX 対応	南海電鉄	完了	2016 年	FAX 導入	
		11	トイレ出入口への点字版および案内図の設置	南海電鉄	完了	2018 年	触知案内板設置	★
		12	一般トイレ出入口の段差解消	南海電鉄	完了	2018 年	段差解消済み	★
		13	トイレの設置・改良（多機能化など）	南海電鉄	完了	2018 年	一般トイレに洋式便器の設置	
駅前広場	a.誘導案内情報施設の整備	14	路線図・料金表等の改良	南海バス	未着手 (検討済)	－		
	b.設備・施設の改良	15	身体障害者用駐停車帯の設置	堺警察署	未着手 (検討済)	－		
		16	ベンチ等の設置	南海バス	未着手	－	駅前広場においてバス事業者主体（単独）でのベンチ設置は困難と思われます。	

■堺駅 事業実施個所の状況

6 列車接近を示す視覚情報設備の設置	8 券売機の点字表示、 9 車いす対応、IC 化への対応	11 トイレ出入口への点字版および案内図の設置、 12 一般トイレ出入口の段差解消
<ul style="list-style-type: none"> ●行き先案内盤設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●テンキー対応券売機導入 (点字表示はそれ以前に対応) ●IC 対応機導入 ●障害者割引ボタンのある券売機に点字ブロックで誘導 ●券売機に蹴込み設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●触知案内板設置 ●段差解消 

(2) 堺東駅

■堺東駅 事業実施状況一覧 (2/2)

凡例

グレーハッチ：「堺市交通バリアフリー基本構想」に位置づけのない事業

整備項目				回答者	記入欄			
					進捗	完了年度	備 考	写真
鉄道駅舎	a.垂直移動施設の整備	1	改札内外エレベーターの音量・開閉時間調節	南海電鉄	一部完了	2013 年	アナウンス音量を改善	
	b.誘導案内情報施設の整備	2	駅全体の案内サイン等の検討	—	—	—	1 F→改札口階へのエレベーターは南海電鉄管理外	
		3	西口、北口への主要施設案内図の設置	南海電鉄	完了	2017 年	駅構内図を設置	★
		4	駅全体の誘導ブロックの配置等の検討	南海電鉄	完了	2018 年	JIS 規格には一部非対応	
		5	階段手すりの点字シールの設備	南海電鉄	完了	—	手すりの点字表示に文字を併記	★
	c.旅客施設の個別施設	6	拡幅改札口の設置等	南海電鉄	完了	—	幅広改札口を設置済	
	d.設備・施設の改良	7	券売機の点字表示	南海電鉄	完了	2003 年	テンキー対応券売機導入 (点字表示はそれ以前に対応)	
		8	車いす対応、IC 化への対応	南海電鉄	完了	2018 年	・券売機に蹴込み設置 ・IC 対応機導入	★
		9	駅務室における FAX 対応	南海電鉄	完了	2016 年	FAX 導入	
		10	トイレ出入口への点字版および案内図の設置	南海電鉄	完了	2018 年	触知案内板設置	★
		11	トイレの設置・改良（多機能化など）	南海電鉄	完了	2017 年	一般トイレに洋式便器を設置	
駅前広場	a.誘導案内情報施設の整備	12	点字・音声誘導設備の設置・改良	回答無し				
	b.設備・施設の改良	13	ベンチ等の設置	回答無し				

■ 堺東駅 事業実施個所の状況

3 西口、北口への主要施設案内図の設置	8 車いす対応、IC 化への対応	10 トイレ出入口への点字版および案内図の設置
<p>● 駅構内図を設置</p> 	<p>● 券売機に蹴込み設置 ● IC 対応機導入</p> 	<p>● 触知案内板設置</p> 

2. 道路・信号交差点の進捗状況

(1) 主要信号交差点

■主要信号交差点 実施状況一覧

凡例

グレーハッチ：「堺市交通バリアフリー基本構想」に位置づけのない事業

整備項目			交差点等 No.	進捗	完了年度	備 考
a.既設信号の改良	1	主要信号交差点における音響声 信号化または改良	①	完了	－	従道路秒数確保 隣接の大浜北町西と連動
			②	完了	2005 年	
			③	完了	2002 年	
			④	完了	2005 年	
			⑤	完了	2005 年	
			⑥	完了	2004 年	
			⑨	完了	1995 年	
	2	歩行者青時間の延長等の改良	⑧	未着手 (検討済)	－	変更なし
	3	視覚障害者用道路横断帯（エ スコートゾーン）の設置	－	回答無し	－	
b.立体横断施設部 等における横断歩 道の設置	4	横断歩道の設置	②	完了	1994 年	
			⑥	完了	2003 年	
			⑦	完了	－	立体歩道橋あり 一部横断歩道秒数確保

(2) 道路

■道路 実施状況一覧

【堺警察署】

整備項目			進捗	備 考
a.障害物等の撤去・規制	1	不法駐輪車両の撤去・規制	実施済（継続）	今後も継続的に実施
	2	不法駐車車両の撤去・規制	実施済（継続）	今後も継続的に実施
	3	商品・看板等のはみ出しに対する指導及び撤去	実施済（継続）	今後も継続的に実施

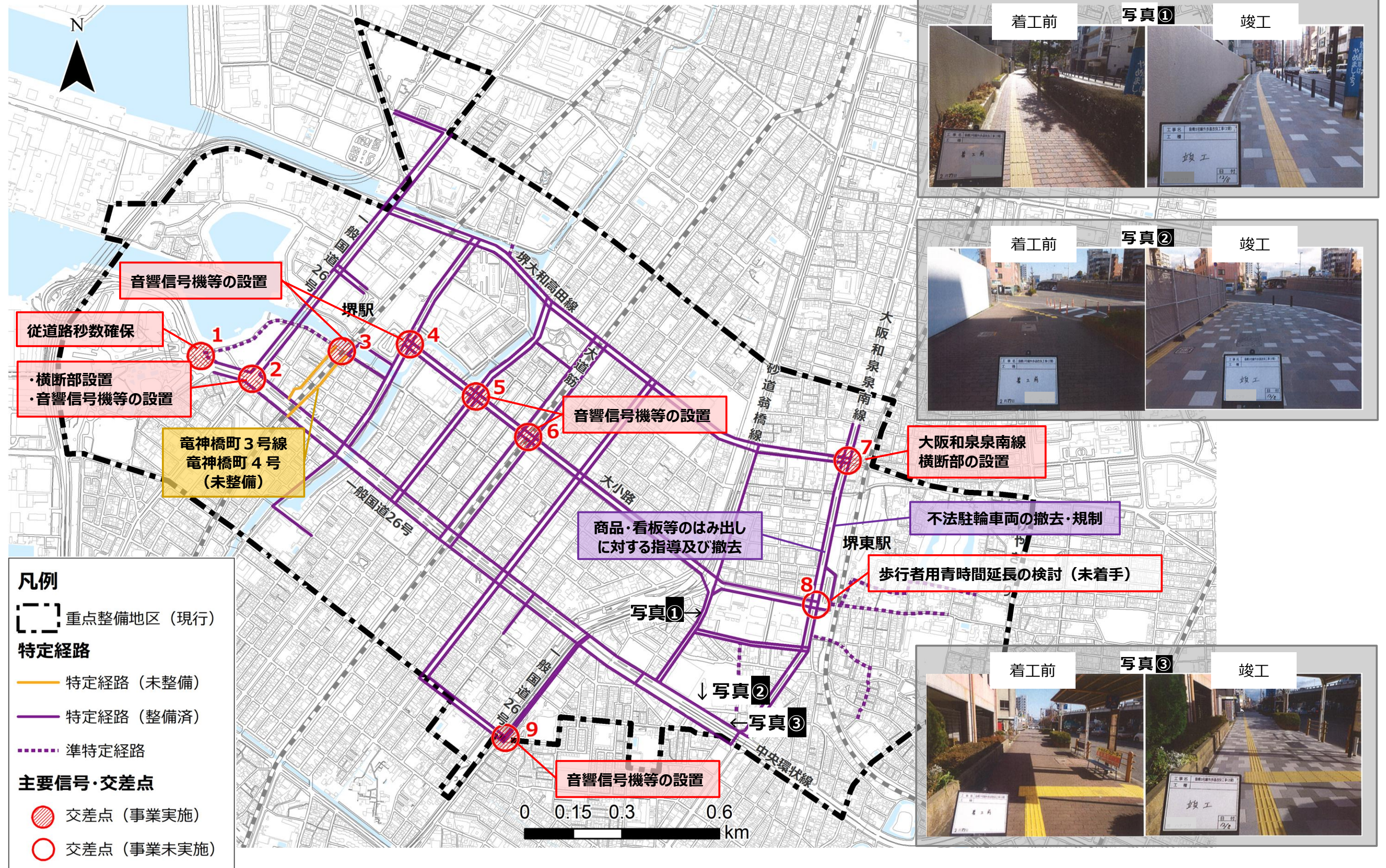
【大阪国道事務所・堺市】

種別	連番	区間	予定延長 (km)	進捗	完了 年度
市道	1	三宝向陽線	0.2	完了	2005 年以前
	2	堺駅前西広場線	0.1	完了	2014 年
	3	竜神橋町 3 号線	0.2	未整備	2023 年以降
	4	竜神橋町 4 号線	0.2	未整備	完了予定
	5	竜神橋町 1 4 号線	0.1	完了	2013 年
	6	戎島町 1 6 号線	0.1	完了	2013 年
	7	戎島出島線①	0.4	完了	2015 年
		戎島出島線②	0.4	完了	2013 年
		戎島出島線③	0.2	完了	2012 年
	8	宿院南 2 号線	0.1	完了	2005 年以前
	9	宿院北 5 号線	0.1	完了	2005 年以前
	10	錦出島線①	0.4	完了	2010 年
		錦出島線②	0.4	完了	2010 年
	11	大道筋①	0.3	完了	2005 年以前
		大道筋②	0.4	完了	2005 年以前
	12	錦南宗寺線①	0.3	完了	2015 年
		錦南宗寺線②	0.4	完了	2005 年以前
		錦南宗寺線③	0.4	完了	2005 年以前
	13	大浜綾西線	0.3	完了	2005 年以前
	14	大道東 6 号線	0.1	完了	2006 年
	15	砂道翁橋線	0.4	完了	2015 年
	16	翁橋 3 号線	0.3	完了	2017 年
	17	瓦町 1 8 号線	0.3	完了	2005 年以前
	18	大小路線①	0.5	完了	2005 年以前
		大小路線②	0.7	完了	2005 年以前
		大小路線③	0.3	完了	2005 年以前
	-	堺東駅前西広場	0.2	完了	2012 年

種別	連番	区間	予定延長 (km)	進捗	完了 年度
国・府道	19	大阪和泉泉南線①	0.6	完了	2015 年
		大阪和泉泉南線②	0.5	完了	2005 年以前
	20	国道 3 1 0 号①	0.2	完了	2005 年以前
		国道 3 1 0 号②	0.4	完了	2017 年
	21	堺大和高田線①	0.3	完了	2005 年以前
		堺大和高田線②	0.3	完了	2005 年以前
		堺大和高田線③	0.2	完了	2005 年以前
		堺大和高田線④	0.2	完了	2012 年
		堺大和高田線⑤	0.3	完了	2012 年
		堺大和高田線⑥	0.3	完了	2011 年
	22	堺港線	0.1	完了	2005 年以前
直轄国道	23	国道 2 6 号①	0.3	完了	2005 年以前
		国道 2 6 号②	0.2	完了	2005 年以前
		国道 2 6 号③	0.4	完了	2005 年以前
		国道 2 6 号④	0.8	完了	2005 年以前
		国道 2 6 号⑤	0.4	完了	2005 年以前
		国道 2 6 号⑥	0.4	完了	2013 年
計			13.7	-	-

整備率（完了延長/全延長）：97%

■事業実施箇所・実施状況



3. ソフト事業の進捗状況

ソフト事業は、「堺市交通バリアフリー基本構想」において「堺駅・堺東駅周辺地区」独自の位置付けはありませんが、各事業者にヒアリングを実施し、各事業者独自の事業実施状況を把握しています。

項目		実施主体	実施時期	取組みの概要、補足情報
a. 当事者参加に関する取組み	1	堺市・各事業者等	継続実施	堺市バリアフリー化検討委員会に参加
	2	堺市・各事業者等	基本構想策定時	バリアフリー点検調査の実施
b. 心のバリアフリーに関する取組み	3	南海電鉄	継続実施	サービス介助士資格取得、駅サービス向上研修の実施
	4	南海電鉄	継続実施	マナーアップに関するポスター掲示
c. 利用者などへの情報提供（情報のバリアフリー）に関する取組み	5	堺市	継続実施	基本構想の周知（広報誌・ホームページへの掲載、パンフレット作成）
	6	堺市	継続実施	市有建築物のバリアフリー情報のホームページへの掲載
	7	南海電鉄	継続実施	案内板の設置
	8	南海電鉄	継続実施	筆談器、指差しツールの設置
	9	南海電鉄	継続実施	駅のバリアフリー情報のホームページへの掲載
	10	大阪府警	継続実施	警察署のバリアフリー情報のホームページへの掲載

※心のバリアフリーをはじめとするソフト事業の基本構想への位置づけは、どのような事業（取組み）を実施しているのかを広く多くの方々に知っていただく機会にもなり、重要な項目の1つです。他に実施している事業があれば引き続き情報のご提供をお願いします。